

第 146 回エイズ動向委員会
委員長コメント

《平成 28 年第 2 四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 28 年 3 月 28 日～平成 28 年 6 月 26 日までの約 3 か月
2. 新規 HIV 感染者報告数は 239 件（前回報告 250 件、前年同時期 267 件）
そのうち男性 232 件、女性 7 件で、男性は前回（231 件）より増加し、前年同時期（254 件）より減少、女性は前回（19 件）より減少、前年同時期（13 件）より減少
3. 新規 AIDS 患者報告数は 112 件（前回報告 102 件、前年同時期 118 件）
そのうち男性 100 件、女性 12 件で、男性は前回（99 件）より増加、前年同時期（114 件）より減少、女性は前回（3 件）より増加、前年同時期（4 件）より増加
4. HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数は 351 件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規 HIV 感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 182 件（全 HIV 感染者報告数の約 76%）
 - 異性間性的接触によるものが 31 件（全 HIV 感染者報告数の約 13%）
そのうち男性 27 件、女性 4 件
 - 静注薬物によるものは 1 件
 - 母子感染によるものは 0 件
 - 年齢別では、20～30 代が多い。
2. 新規 AIDS 患者：
 - 同性間性的接触によるものが 56 件（全 AIDS 患者報告数の 50%）
 - 異性間性的接触によるものが 32 件（全 AIDS 患者報告数の約 29%）
そのうち男性 24 件、女性 8 件
 - 静注薬物によるものは 0 件
 - 母子感染によるものは 0 件
 - 年齢別では、30～40 代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成 28 年 4 月～6 月）】

1. 保健所における HIV 抗体検査件数（確定値）は 21,080 件
（前回報告確定値 22,533 件、前年同時期確定値 24,031 件）
自治体が実施する保健所以外の検査件数（確定値）は 7,214 件
（前回報告確定値 7,170 件、前年同時期確定値 8,085 件）
2. 保健所等における相談件数（確定値）は 28,922 件
（前回報告確定値 30,253 件、前年同時期確定値 34,943 件）

【献血の概況（平成 28 年 1 月～6 月）】

1. 献血件数（速報値）は、2,429,770 件（前年同時期速報値 2,464,119 件）
2. そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は 18 件（前年同時期速報値 27 件）
10 万件当たりの陽性件数（速報値）は、0.741 件（前年同時期速報値 1.096 件）

《まとめ》

1. 新規H I V感染者報告数及び新規A I D S患者報告数は前年同時期に比して減少した。
2. 保健所等におけるH I V抗体検査件数及び相談件数も前回、前年同時期に比して減少した。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくため、今後保健所等の無料・匿名H I V抗体検査及び相談を積極的に利用していただきたい。
3. 新規H I V感染者は20～30代、新規A I D S患者は30～40代で報告数が多く、いずれも20～70代までの幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。コンドームの使用など、適切な予防策により感染を予防することが可能であり、重要である。